愛知スキー協通信 No.328

発行：新日本スポーツ連盟　愛知スキー協会　　２０２２年6月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)
e-mail:aichiskikyoukai@yahoo.co.jp
http://aichiskykyou.yukigesho.com/
編集：シクラメンスキークラブ
＆　サザンクロススキークラブ

7月3日は、愛知スキー協会　総会です

文責　愛知スキー協理事長・技術部長兼任　寺田　康男
（みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー）

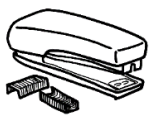
労働会館でZoomを併用して総会を開催するために理事会で準備中です。
人員体制、会議の開催方法、役員会選挙の仕方は、昨年を基準にします。

４８期　では「クラブを１０倍たのしくする為の要求」を、要求の形（項目と質）の違い毎に４種類に分類しました。
４９期　では、其れをさらに前進させ、今の情勢（コロナ・暖冬・教育不足）にあった要求として追求し、実現の為の具体的な策（どう動くか）を方針としました。
５０期　では、コロナ禍が続くと想定して、集団で行動出来なくても、追求できるスキー協らしさと楽しみ方を考え、21 の方針案を出しました。
５１期　で重点的に取り組む方針を絞り込み、発展的に取り組みます。

4 種類の要求事項は、引き続き変化・発展させ、追求して行きます。要求は、皆さんの希望であり、現状に足りない部分の確認と実現のための指標です。

これが、皆のものになっている事が重要です。役員が総会議案書の為だけに作った飾り物になっていませんか？この時期だけでもかまいません。みんなでスキー協をどうするかを考えていきましょう。

A　「興味が持てる**情報を**、定期に**必ず**伝えて**ほしい**」
B　「スキーを続けるための　**体力、気力を維持したい**」
C　「少人数で出来ないことを実現するための　**組織力をつよめたい**」
D　「出来るだけ　らくに、　安全で　**たのしい環境　がほしい**」



クラブでも議論して、その様子を理事に託して理事会や総会に上げてきてください！
各個人の意見があれば直接寺田康男にメール送信ください！

携帯アドレス tera-.-ski@docomo.ne.jp　パソコンアドレス　yasuohiromi@mta.biglobe.ne.jp

東海ブロックゴールデンウイーク合宿　（一部敬称略）　〈リフト下スタート〉

５月２日夜～５日　野沢温泉スキー場で恒例の合宿を行いました。イエテイスキークラブだけでしていたのが懐かしく、東海ブロックスキー協で成立する取り組みになりました。新しいゴンドラができ、やまびこゲレンデに行くのに小毛無リフト(スカイライン連絡ペアリフト)に乗る必要がなくなりました。小毛無ゲレンデはポールを行うためにリフトを動かします。よって４月ではチーム数が多いときのみの運行になっています。リフト下の小毛無Ａになりました。小毛無Ｂの１は静岡（富士宮）体協、２は岡田利脩キャンプでした。両チームともソフトラバーシュートポールを使った練習をしていました。

５月３日好天、前半ソフトラバーポールで練習しました。リフトを降りるとすぐ練習バーン、ゴールしたらすぐリフト乗り場、コースは短いですが、野麦や平湯よりももっと効率がいい環境です。１１時３０分昼食予定が、疲れと食堂の込み具合から１１時にしました。静岡組は、手弁当タイプの昼食です。参加者は、愛知(８名)澤田３寺田２安藤・祐成・富田静岡(５名)長島・神山・佐野・中野・伊藤に三重・武市の１４名でした王子製紙の浅野さんが練習のみ参加しました。富田さんはたまにポールに入り、後は、やまびこゲレンデで楽しみます。午後はロングポールにしてポールに当たるのを楽しみました。他のレーシングのようにそれのみ練習できる訳でなくロングポールは必須です。２時半まで頑張り下山しました。テニス等のアフターは今回企画なしです。夜は、白樺(宿)でなく外食にしました。「若ぎり」で好きなものを注文してのスタイルでした。おいしかったです。

５月４日６時３０分白樺のめちゃおいしい朝食、結構早起きして温泉を楽しんでいる人が多いようです。７時半出発８時１０分長坂ゴンドラ運行開始、並んで待ちます。３日と同日程、妙高山荘岡田さん(イエティが合宿させてもらっています)稲葉さんもきて１７名とてもいい練習ができました。計測器も調子を見るために使用、順調にタイムが出るのでより楽しめました。滑りとタイムで技術力アップ。夕食は「ビリケン食堂」５日は半日でＧＳです。祐成さんは帰り、知希は体調不良で１２名でした。この日も好天で大変いい練習ができました。下山後静岡はすぐ帰りました。若者と別で蕎麦屋「よし味」で昼食、満足。

また、高さんがテストスキーを手配してくれＨＥＡＤスキーを堪能しました。新しい板は違う､「やっぱりいいわ､古い板はだめだね。」購入の意欲が高まりました。（澤田）

海の冒険学校（５月号と違う昨年の写真）
８月 11 日(木)～15 日(月)「潮岬青少年の家」参加よろしくお願いします。

「楽しかった！」

5/8（日）乗鞍山スキー&ボード　バックカントリー

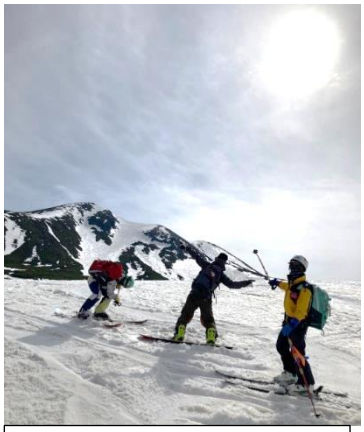
参加者５人　山スキー：寺田（イエティ）　加藤（直滑降）　澤田（イエティ）
浅井（深雪）　　ボード：木村（三重）

乗鞍岳頂上付近。尾根は雪がとけていましたが大雪渓は雪がたっぷりありました

もともと 4/29 に予定していましたが、悪天のため、5/1 に延期。その 5/1 も悪天のため 5/8 に延期し、やっと晴れ、行くことが出来ました。4/29 時点では 12 名の参加希望者がありましたが、延期したため５名になってしまいました。5/7（土）夕方出発し、乗鞍の宿で泊。5/8（日）8:45　乗鞍スキー場三本滝駐車場からバス乗車。9:05 標高 2350mの位ヶ原山荘着。ここから歩いて 3026m の乗鞍岳へ。

澤田さんはザックの紐がちぎれ、シールも調子が悪く、汗だくで「まるでサウナ状態」と言いながら歩いていました。私と澤田さんは遅れて 13:30 に到着。5 人そろい、さあ滑降。重くても締まったいい雪を気持ち良く滑ることが出来ました。「楽しかった！」と、５月の乗鞍は初めての寺田さんと木村さん。来年も企画します。ぜひ参加して下さい。（浅井）

以下は三重の木村さんの感想です。



振り返ると滑ったシュプールが見えます。

２回延期になって、３度目の正直の「乗鞍山スキー」。僕は初めての経験です。友人からビーコンなどの道具を借りて、この日を待ちました。

前日夜から美鈴荘に入り、温泉に入って朝を迎えました。メンバーは５人。快晴です。三本滝からバスに乗り、位ヶ原山荘から登山開始。僕はスノボなので、ザックにスノボを縛り、ブーツにアイゼンを付けて、歩いて登ります。他の４人は山スキーにシールを張っての登行。どっちが楽なのかはわかりませんが、どっちも大変かと思います。

乗鞍の雪渓は素晴らしいです。雪は少なくなっていましたが、まだまだ残っていて、アイゼンで歩く途中途中で、膝まで潜ったり、踏み外したり。中でも、トラバースと言って、広い雪原の斜面を横切りながら歩くのは、大変でした。急な斜面をまっすぐに登っていくのも、非常に脚力と体力が必要で、「これは、誰でも気軽に来れる場所じゃないな」と思いました。それでも、景色は素晴らしくて、多くのスキーヤー、ボーダー、登山客が山頂を目指していました。気温も高く、風はほぼ無風。汗をかきかき、ゆっくりと歩を進め、剣が峰の山頂近くの、雪があるギリギリの所まできました。標高は３０００m近くあります。絶景です。

お昼を食べて休憩してから、いよいよ滑降です。斜度はそこそこ急ですが、雪の状態も悪くなく、気持ちよく滑ります。３時間苦労して登ったので、あまり急いで滑ってはもったいないので、のんびりと写真も撮りながら滑ります。ああ、これがバックカントリーっていうんだなぁ、と感慨もひとしおです。機会があれば、次も参加したいと思います。計画していただいた方々、本当にありがとうございました。

深雪スキークラブ４月行事

東さんのお見舞い＆曼陀羅寺　藤の花見

深雪スキークラブの東さんが足首を骨折して入院しているという話を聞いたのは、まだスキーシーズン真っ盛りのころでした。それから数か月、ようやく退院できたとのことでしたので、４月の行事は花見にしようという計画が進んでいたこともあり、東さんのお見舞いと、お花見を兼ねて江南に行くことになりました。東さんはまだ歩くのは少し不自由とのことでした。みんなで食べるようにと岩井千恵美さんが買ってきてくれた「餡麩三喜羅」をぼくはこれだけは食べないんだとわがままなことを言っていましたが、とても元気でした。多くの方がご存じだと思いますが東邸のなか子さんハウスは母屋とは別棟にあって、体育館のようでもあり、合宿所のようでもあるオール木製の素敵な建物です。そこで餡を包んだ生麩のお菓子を食べ、お茶を飲み、東さんを囲んで楽しい時間を過ごしました。その後、「しっかり回復して、以前のようなスキーを取り戻せますように」と祈りつつ、東さんと別れました。

江南に曼陀羅寺という藤で有名なところがあるというのは､テレビの情報番組で見たことがありました。しかし子供の時に家にあった藤娘の人形の、どこか嘘っぽい、造り物のイメージが強くて、わざわざ藤を見に行きたいとは思っていませんでした。曼荼羅寺に行ってみると折しも細かい雨が降り出し、白や薄紫、大きめの花や細かい花が雨にしっとりと濡れてとてもきれいでした。しっかり手入れされた、いろいろな種類の藤がおもしろく、行ってよかったと思いました。（安藤）

新日本スポーツ連盟愛知連盟定期総会＆講演会のお知らせ（ご案内）

新日本スポーツ連盟愛知連盟は、第４２期定期総会及び講演会を以下のように行います。

日　程　2022年6月26日（日）13：00～15：50（総会）
16：00～16：50（講演会）
場　所　愛知民主会館（名古屋市東区葵1-22-26）地下鉄新栄駅2番出口徒歩2分
テーマ　「スポーツと平和」
講　師　青木 正雄氏（新日本スポーツ連盟愛知連盟会長）

※総会への参加は、愛知スキー協のクラブ員であれば、オブザーバーとして参加できます。また、講演会にはどなたでも参加できます（オンライン（Zoom）でも参加可能）
※お申込み、詳細については愛知スキー協へお問い合わせください。
メールアドレス：aichiskikyoukai@yahoo.co.jp

どのような理由でも　武力侵攻は許されない。自ら提案した「オリンピック休戦」決議にも違反する

（新日本スポーツ連盟　３月１日　声明文）

ロシア軍によるウクライナへの武力侵攻は、どのような理由をつけても許されません。ロシアも含む１７３ケ国が共同提案し国連で採択された、北京オリンピック・パラリンピック期間の「オリンピック休戦決議」を真っ向から否定するものであり、平和を不可欠とするスポーツとは相容れません。

新日本スポーツ連盟は、「スポーツは平和とともに」のスローガンをもとに平和の文化であるスポーツを広げる団体として、核兵器による悲惨さを体験した国のスポーツ団体として、平和憲法を持つ国のスポーツ団体として、ロシア軍の即時撤退を求めます。 スポーツを愛好するすべての人々が、“ウクライナへの武力侵攻を許さない”“戦争をやめ、交渉での解決を”の声をあげ、戦争をやめさせ、平和な世界を実現するために世界のスポーツ界と連帯することを呼びかけます。